

B-2 ひかりチーム

B-2（ひかりチーム）は八尾市の産業の安定化と活性化の方策を検討し、市民生活の向上をめざすことを主題としている。ものづくり、観光、農業、文化、雇用・就労と中小企業経営に関して議論している。

*ものづくり

ものづくりは八尾の伝統的産業であり、府下有数の工業生産地域となっている。したがって、将来に向けてさらに生産力の向上、工場誘致、新産業への支援、他業種との連携などを課題として取り組み、ものづくりの産業集積拡大の施策を推進する。

- ・産業集積には弱体化がみられ、商品開発力や生産力は低下してきているので、今後大企業との関係やこれまでの仕事の流れを変える必要がある。たせるた
- ・ものづくり産業は流通、販売、サービス業など他業種との連携が必要である。
- ・社会の変化や地域資源との関連において新産業の創出も課題となっている。
- ・「もの」から「こと」の時代に対応できるようソフトを含めた産業転換が必要ではないか。
- ・地場産業の活性化や高度技術の集積によるものづくりをさらに進めるべきではないか。
- ・ものづくりによる雇用の増大や生活物資の安定供給が市民生活に豊かさを提供できるような施策が重要になるだろう。

*観光

観光は八尾の優れた歴史文化、自然、伝統産業など地域資源を活用し、観光がもたらす社会的効用、産業経済的効用を理解しつつ、観光振興によって市民生活や経済活動に寄与するよう観光施策を推進し、八尾を楽しく、豊かで、誇れる元気なまちづくりを行う。

- ・八尾での観光振興の効果を明確に把握し、自然の保護、歴史文化遺産の保全、景観の保存などの大切さの啓発活動を行うべきである。
- ・特産品開発を観光振興の一環として推進する
- ・観光が地域経済の活性化につながる。
- ・八尾観光を市民に提供すると共に、市外からの観光客や外国からの観光客を誘致すべきである。
- ・今後の観光振興のための施策として必要なことは、事業主体の組織化と連携、観光資源の開発と整備、観光情報提供のシステム化であろう。

* 農業

八尾の農業を大都市近郊農業生産地として位置づけ、農業生産物のブランド化を進めるとともに効率的販路開拓を行う。そうして生産性、収益性の向上に寄与する施策を行う。

- ・市民のリクレーションの場として農地利用を推進する。
- ・八尾農産物のブランド化を拡大する。
- ・道の駅のような農産物の大規模な販売所を設けてほしい。
- ・八尾の特産品として、その加工品を含めて、観光との連携を深めるべきである。
- ・観光農業の振興策を考えるべきではないか。

* 文化

歴史文化、地域生活関連文化を八尾の地域資源と位置づけ、これら地域文化への理解啓発を行い、市民生活の中に取り入れ、継承保存しながら、地域社会や経済との共存をめざす。

- ・ミュージアムのような文化施設を整備すべきである。
- ・河内音頭は八尾の代表的地域文化なので、機能的な保存と継承政策をとりいれるべきである。また全国的に披露し、広めるべきである。
- ・文化と経済の調和を考えるべきである。
- ・有形・無形の文化財の保存をに関してもっと積極的に取り組むべきではないか。

* 雇用・就労と中小企業経営

八尾は中小企業集積の地域であり、雇用や就業、人材ニーズに多くの課題を抱えている。したがって、これらに対する八尾独自の施策と取り組みが必要である。

- ・就業指導のネットワークをもっと機能的に構築すべきではないか。
- ・職業訓練機関の充実をもっと図るべきである。
- ・ニュー・ビジネス（観光ビジネス、環境ビジネスなど）に対する育成や支援政策を取っていくべきである。
- ・収入や雇用の効果を上げるため市営事業を行ったらどうか（葬祭事業など）。